

授業科目名 <英訳>	現代史学(特殊講義) Contemporary History (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 教授 高木 博志					
配当 学年	1回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2017・ 前期	曜時限	水2	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目	近現代における歴史の顕彰										
【授業の概要・目的】											
1867年の王政復古の号令で、天皇親政の理念とともに、始祖としての神武天皇が浮上する。1880年代には皇室をめぐる「旧慣」保存策が展開した。1889年の大日本帝国憲法にともなう大赦令とともに、戊辰戦争で「賊軍」とされた江戸幕府・会津藩・西郷隆盛などが復権する。それとともに江戸幕府や旧藩の顕彰が始まる。1917年の「戊辰殉難者五十年祭」、1928年の昭和大礼と戊辰より60年の記念と、明治維新の顕彰が続く。1911年の南北朝正閏問題により南朝正統論が公認となるが、河内長野や四條畷、島本における南朝顕彰が展開する。1928年以降に史跡名勝の行政を文部省が管轄するが、宮址・南朝史蹟・維新史蹟・神武聖蹟などが国民道徳と一体となって整備され、1945年まで歴史が動員される。昨年度に論じなかったテーマを取りあげたい。											
【到達目標】											
注のある形式の論文が作成できる。近現代における歴史の顕彰について、授業とフィールドの両面から、理解を深める。											
【授業計画と内容】											
<ul style="list-style-type: none"> ・ 明治維新と「神武創業」 ・ 1880年代の皇室をめぐる「旧慣」（伝統文化）の保存 ・ 1889年の恩赦と旧幕府・旧藩などの顕彰 ・ 江戸文化の回顧と顕彰 ・ 「京都らしさ」と国風文化・安土桃山文化 ・ 1911年南北朝正閏問題と南朝正統 ・ 戊辰戦争50周年、60周年の位相 ・ 南朝史蹟の顕彰 ・ 皇紀2600年と神武聖蹟 ・ 国定教科書の中の歴史顕彰 ・ 修学旅行と歴史教育 ・ 補論 日本美術史/朝鮮美術史の成立 <p>昨年に引き続き、以上の諸問題を考える。内容は変更することもある。</p>											
【履修要件】											
特になし											
----- 現代史学(特殊講義)(2)へ続く -----											

現代史学(特殊講義)(2)

[成績評価の方法・観点及び達成度]

講義にかかわる自由研究のレポートによる。注のある形式。授業で指示。平常点も加味する。

[教科書]

プリントを配布する。

[参考書等]

(参考書)

高木博志 『近代天皇制の文化史的研究』(校倉書房)

高木博志 『近代天皇制と古都』(岩波書店)

[授業外学習(予習・復習)等]

東山、嵯峨野、京都御苑、神武陵など、歴史顕彰の近現代に関わる巡見を希望者で行う。

(その他(オフィスアワー等))

レポートの内容について個別相談に応じる。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。